

# 次の危機に備える武器としての ワクチン・医薬品・診断薬の 研究・開発・現場展開を考える

日本政府のMCM開発体制 / 重点感染症等の指定 / 諸外国の開発体制の動向や 集団接種 ・ 一類/新型インフル対応における診断ツールの運用などの実際と課題についてお話を伺います。また、現在の日本 & globalのMCM開発/運用の課題 - 日本の今後の方向性についてパネルディスカッションを開催します。

日時

2026年3月27日(金) 15:00～16:30

会場

大阪大学吹田キャンパス  
大阪大学・日本財団 感染症センター 106小ホール

国立健康危機管理研究機構

危機管理・運営局 感染症危機管理部長



国立感染症研究所

感染症危機管理研究センター長

齋藤 智也 先生

川崎市立看護大学長

川崎市健康福祉局医務監



坂元 昇 先生

コーディネーター

大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 未来医療センター 特任准教授  
山岸 義晃

## 【共同開催】

大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部

大阪大学ワクチン開発拠点 先端モダリティ・ドラッグデリバリーシステム研究センター (CAMaD)

\*お問合せ先\*

大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 未来医療センター

TEL:06-6210-8299

E-mail: [mtr-seminar@dmi.med.osaka-u.ac.jp](mailto:mtr-seminar@dmi.med.osaka-u.ac.jp)

